

オペレーティング ガイド

PC Transfer Utility

Ver. 1.6.3

目次

はじめに

1. PCトランスファーユーティリティ（バジェットマネージャ用）の概要
2. 必要なシステム構成
3. パッケージの内容
4. インストール手順

PCトランスファーユーティリティ（バジェットマネージャ用）の操作

1. 接続方法
2. 画面説明
3. ファイルの保存先を変更
4. 手数料/限度額
5. 部門
6. オペレータ
7. インポートとエクスポート
 - 処理のエクスポート手順
 - 部門集計のエクスポート手順
8. メーターのメンテナンス
9. ヘルプ
10. プログラムの終了
11. トラブルシューティング

I. はじめに

PCトランスファーユーティリティ（バジェットマネージャ用）の概要

ピツニーボウズDMシリーズ郵便料金計器（バジェットマネージャ使用）の部門集計データをPC上に取り込み加工できるようにするアプリケーションです。

必要なシステム構成

Pentium4（または同等）のPC、またはそれ以上のスペックのPC。

最小128MBのメモリ

最小500MBのハードディスク空き容量

DMシリーズマシンベースのシリアルポートと接続する為のシリアルポートリムーバブルデバイスまたはネットワーク接続のあるシステムを推奨します。

Microsoft Windows 98SE/Windows 2000Professional/Windows XP Professional/Windows XP Home Edition/Windows 7

※PCにシリアルポートが装備されていない場合、USB-Serial変換ケーブルが必要となります。

推奨モデル：BUFFALO製 BSUSRC06シリーズ

パッケージの内容

- | | |
|---------------------------------|----|
| ■ PCトランスファーユーティリティ（バジェットマネージャ用） | |
| アプリケーションCD-ROM | 1枚 |
| ■ ユーザーガイド（本書） | 1冊 |
| ■ 専用シリアルケーブル（新規ご購入時のみ同梱） | 1本 |

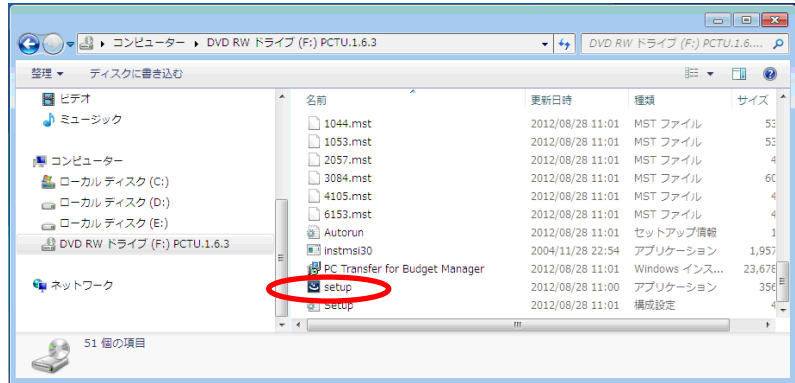
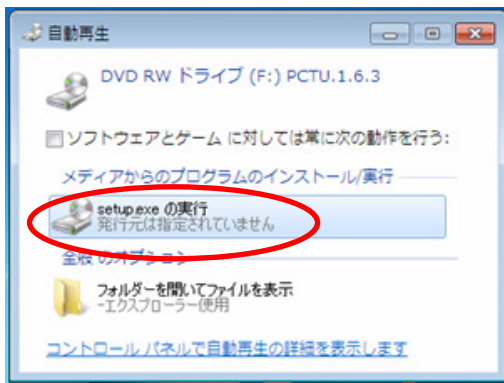
インストール手順

Windows7 (32 bit/64 bit)において、PC Transfer Utility for Budget Managerを使用する場合は、下記の「手順1」から「手順6」までの全手順を順番に実施することが必要になります。

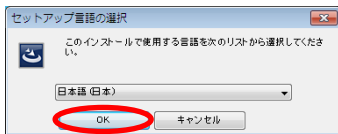
- 手順1. PC Transfer Utility for Budget Manager のインストール
- 手順2. ネットワークアダプター Microsoft Loopback Adapter のインストール
- 手順3. USB-シリアルケーブル/シリアルケーブルのCOMポート設定
- 手順4. 新しいモデムのインストール
- 手順5. 新しい着信接続の作成
- 手順6. 郵便料金計器とパソコンの接続

手順 1. PC Transfer Utility for Budget Manager のインストール

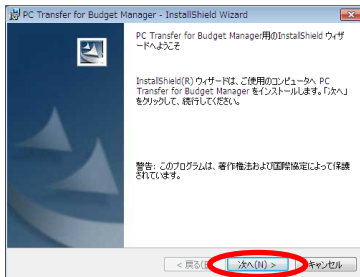
1. PC Transfer Utility を使用するパソコンを起動し、管理者アカウントでログインします。
2. 「PC Transfer Utility for Budget Manager Version 1.6.3 Build 005」の CD を CD ドライブに挿入します。左下画面のように「自動再生」画面が自動表示された場合は「setup.exe の実行」をクリックします。「自動再生」画面が表示されない場合は、右下画面のようにエクスプローラー等から CD ドライブを開き「setup.exe」をダブルクリックします。



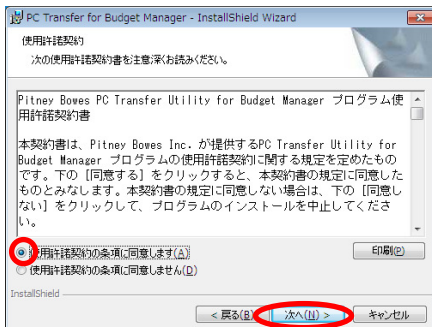
3. 「日本語」を選択し、「OK」をクリックします。



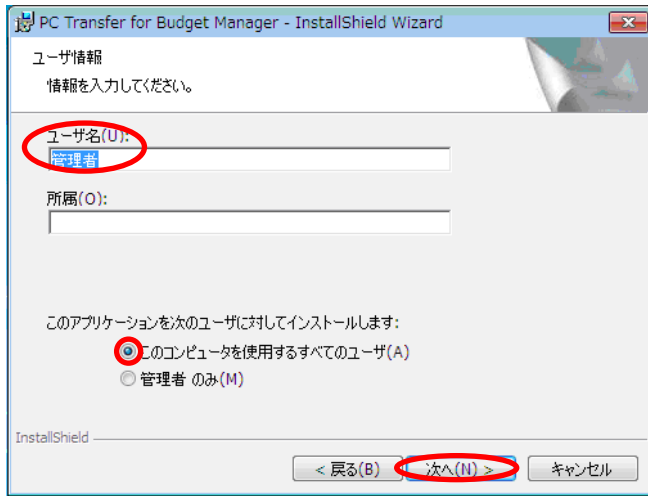
4. 「次へ」をクリックします。



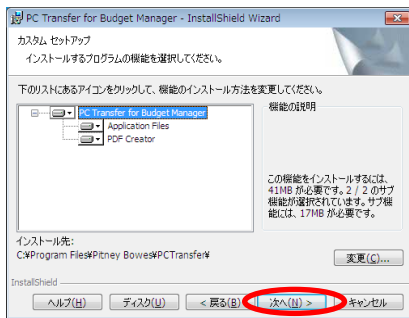
5. 「使用許諾契約の条項に同意します」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。



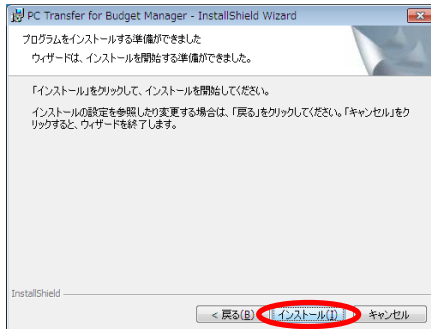
6. 使用するユーザー情報「ユーザ名」を入力します。続けて「このアプリケーションを次のユーザに対してインストールします」欄で該当する方にチェックを入れて、「次へ」をクリックします(次ページへ)。



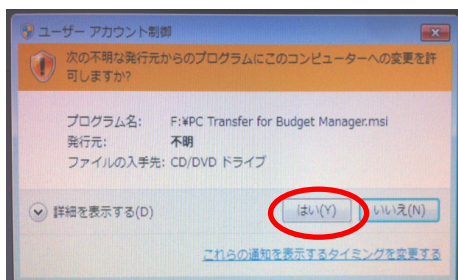
7. 「次へ」をクリックします。



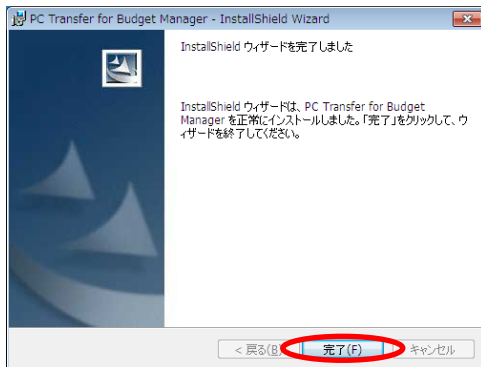
8. 「インストール」をクリックします。



9. 下画面のような「ユーザーアカウント制御」の警告画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



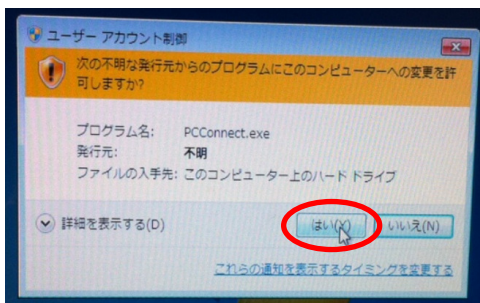
10. 「InstallShield ウィザードは、PC Transfer for Budget Manager を正常にインストールしました。」という表示を確認して、「完了」をクリックします。



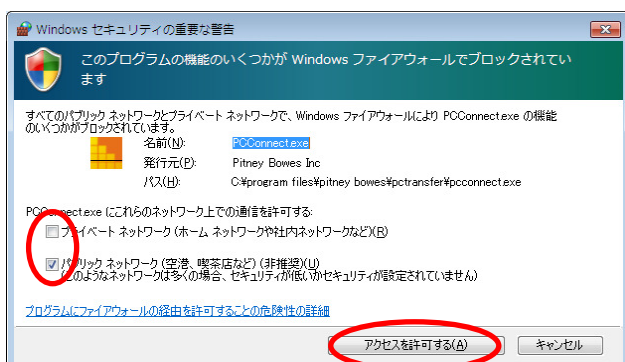
11. デスクトップ上の「PC Transfer for Budget Manager」アイコンを右クリックし、「管理者として実行」をクリックします。



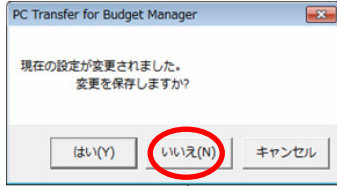
12. 下画面のように「ユーザーアカウント制御」の警告画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



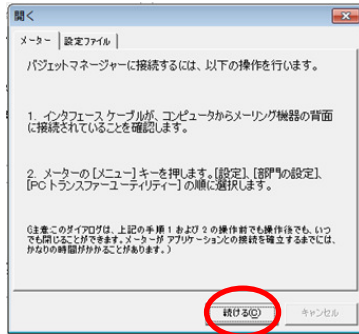
13. 下画面のように「PC Connect.exe」がファイアウォールでブロックされている旨のメッセージが表示された場合は、通信を許可するネットワークにチェックを入れて「アクセスを許可する」をクリックします。



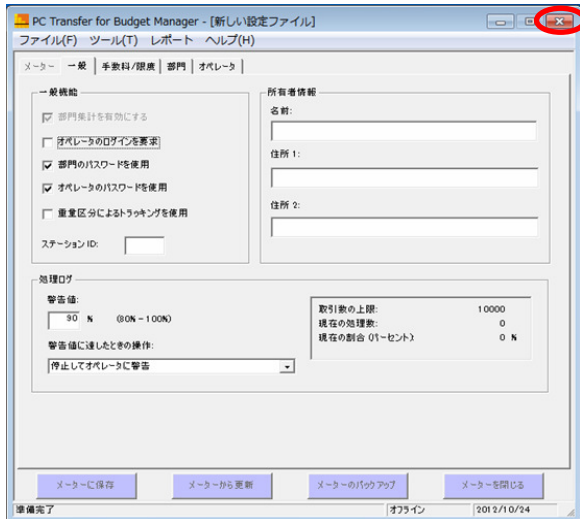
14. 「いいえ」をクリックします。




15. 「続ける」をクリックします。

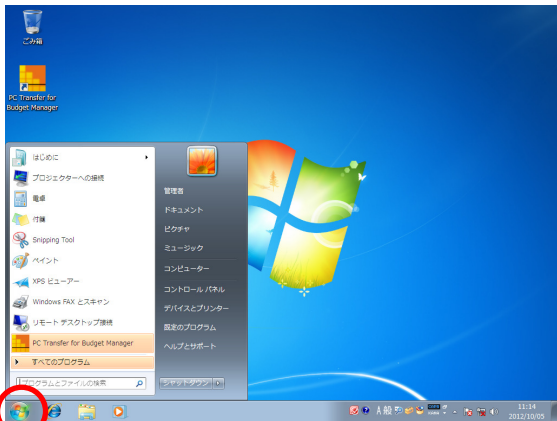


16. 正常に PC Transfer Utility が起動することを確認します。右上の「X」をクリックして閉じます。

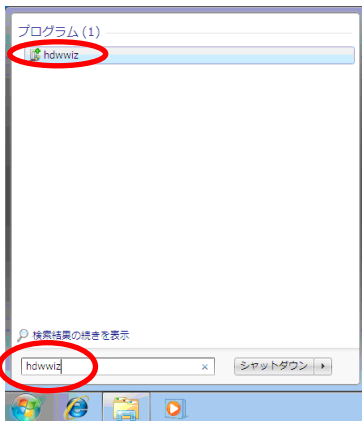


手順 2. ネットワークアダプター Microsoft Loopback Adapter のインストール

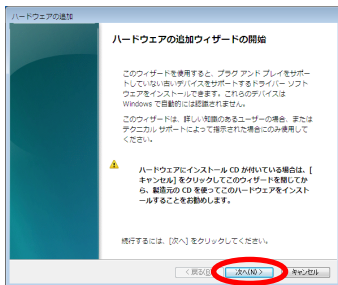
1. 管理者アカウントでログインし、左下の「スタート 」ボタンをクリックします。



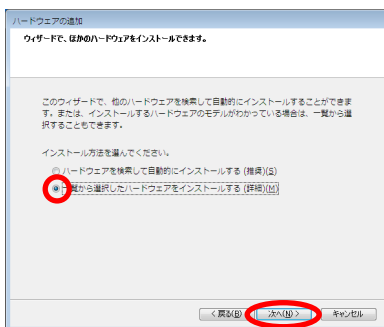
2. 「プログラムとファイルの検索」欄で「hdwwiz」と入力します。「プログラム」の下部に「hdwwiz」が表示されますのでクリックします。



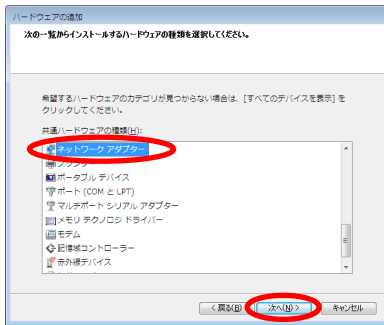
3. 「ハードウェアの追加ウィザードの開始」画面が表示されますので、「次へ」をクリックします。



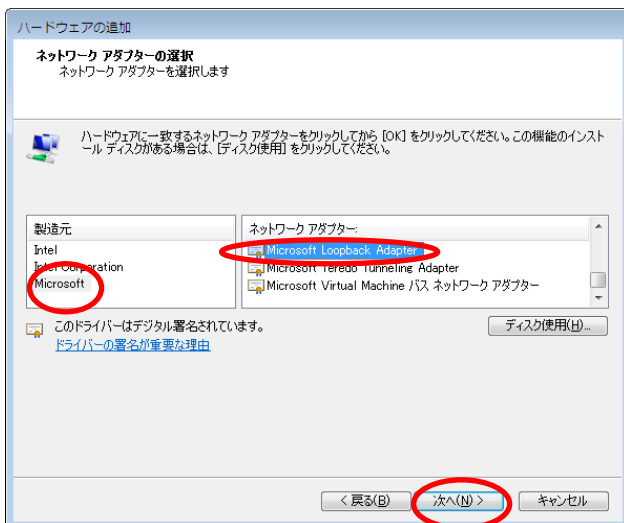
4. 下画面で「一覧から選択したハードウェアをインストールする」を選択し、「次へ」をクリックします。



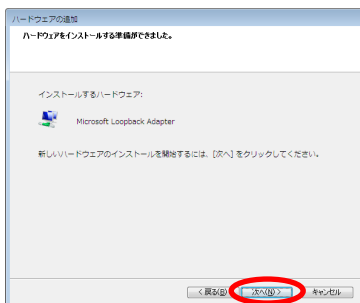
5. 「共通ハードウェアの種類」欄から「ネットワーク アダプター」を選択し、「次へ」をクリックします。



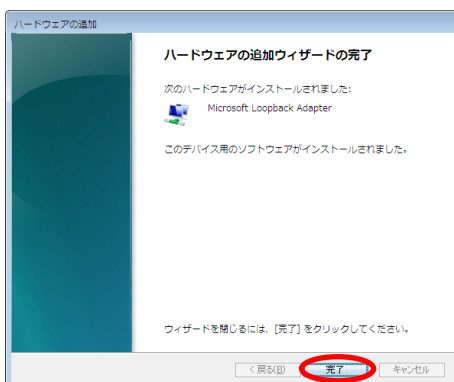
6. 「ネットワーク アダプターの選択」画面で左側の「製造元」欄から「Microsoft」を選択します。続いて、右側の「ネットワーク アダプター」欄から「Microsoft Loopback Adapter」を選択します。「次へ」をクリックします。



7. 下の様な画面が表示されますので「次へ」をクリックします。

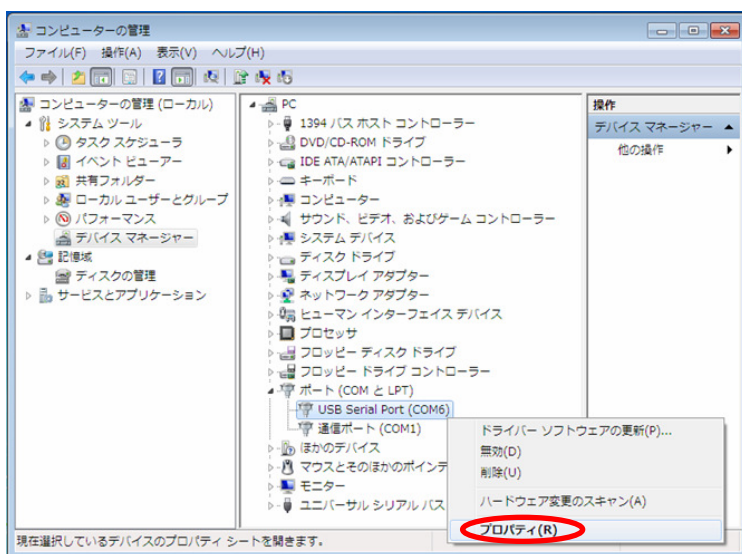


8. 「次のハードウェアがインストールされました : Microsoft Loopback Adapter」の表示を確認し、「完了」をクリックします。

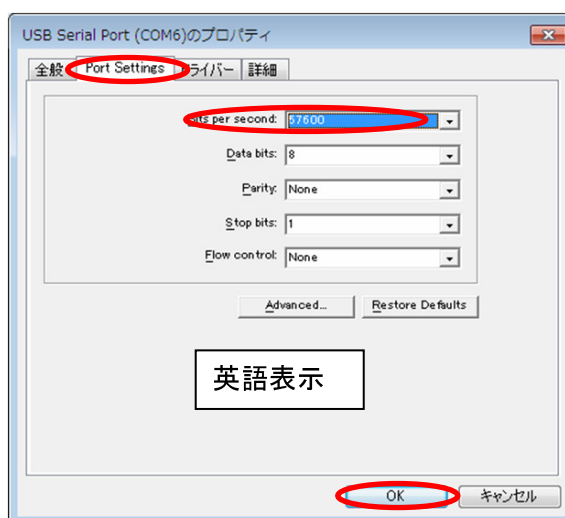
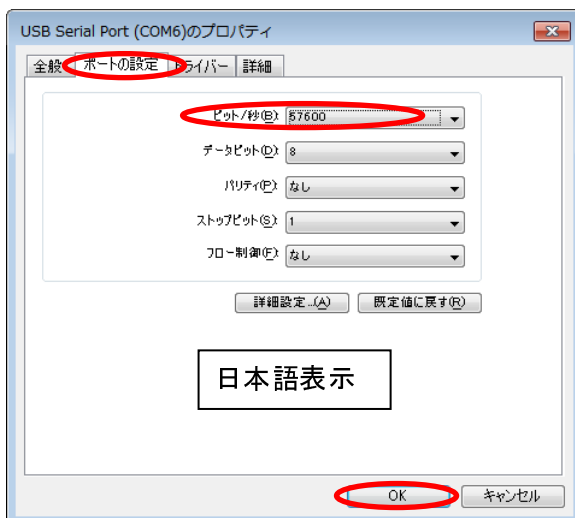


手順 3. USB-シリアルケーブル/シリアルケーブルの COM ポート設定

1. 管理者アカウントでログインします。
2. USB-シリアルケーブルまたは、シリアルケーブルを接続し COM ポート番号を確認します。ケーブルによってはドライバ等のインストールが必要な場合があります。ケーブル製造元のインストール方法に従ってください。
3. 左下の「スタート」ボタンをクリックします。
4. 「コンピューター」を右クリック→「管理」をクリックします。
5. 「コンピューターの管理」で「デバイスマネージャー」をクリックします。
6. 「ポート (COM と LPT)」をダブルクリックし、郵便料金計器に接続する USB-シリアルケーブルまたはシリアルケーブルの COM ポートを選択します。下図の場合は「USB Serial Port (COM6)」となっています。
7. 「USB Serial Port (COM6)」を右クリック→「プロパティ」をクリックします。



8. プロパティ画面で、「ポートの設定」または「Port Settings」タブをクリックします。下記設定にします。
 - ・スピード設定で「ビット/秒：57600」または「Bits per second：57600」（英語表示の場合）
 - ・「フロー制御：なし」または「Flow control：None」（英語表示の場合）
 下の画面の様になっていることを確認して、「OK」をクリックします。



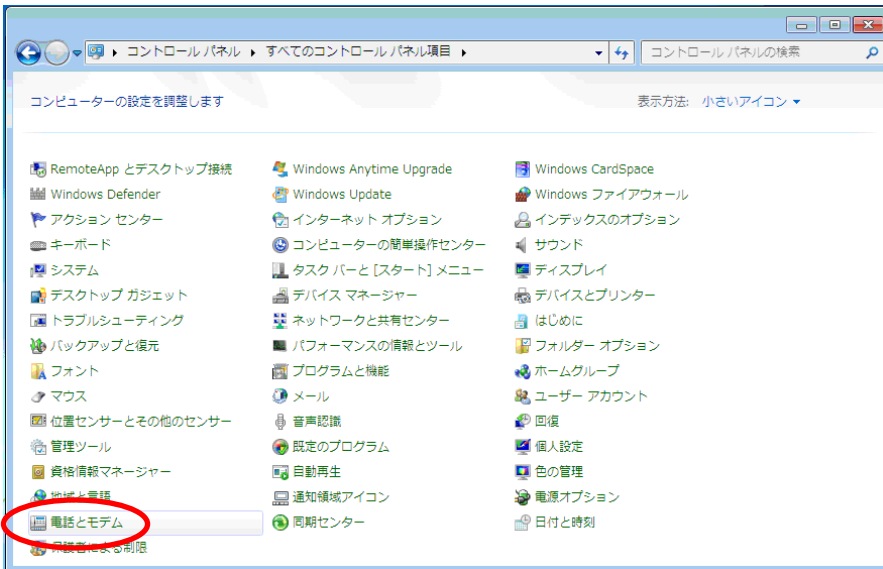
9. 「コンピューターの管理」画面の右上の「X」をクリックして閉じます。

手順 4. 新しいモデムのインストール

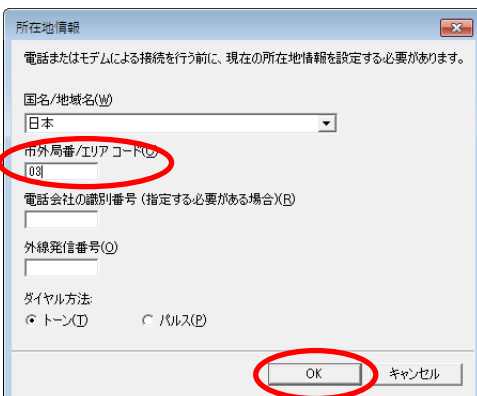
1. 管理者アカウントでログインします。
2. 左下の「スタート」ボタンをクリックします。
3. 「コントロールパネル」をクリックします。
4. 「コントロールパネル」画面で、「表示方法：カテゴリ」をクリックし、「小さいアイコン」をクリックします。既に表示方法が「小さいアイコン」になっている場合はそのまま「5.」へ進みます。



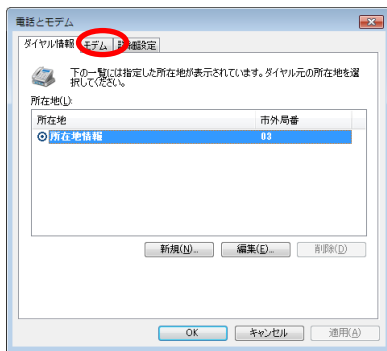
5. 「電話とモデム」をクリックします。



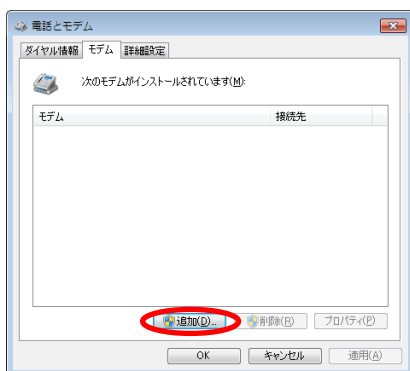
6. 「所在地情報」ウィンドウが開きますので「市外局番/エリアコード」欄に「03」と入力し、「OK」をクリックします。



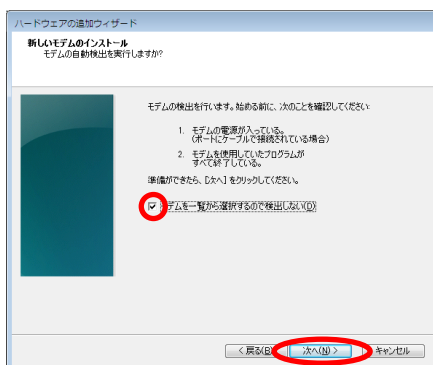
7. 「電話とモデム」画面で「モデム」タブをクリックします。



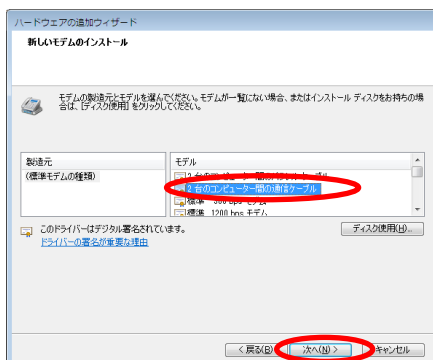
8. 下画面で「追加」をクリックします。



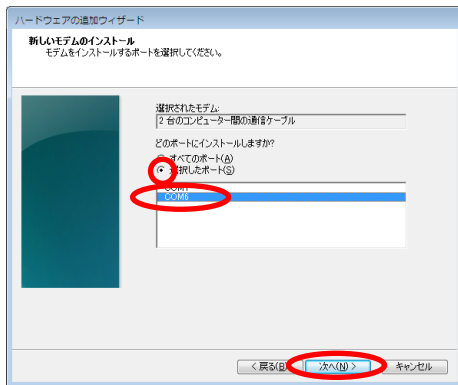
9. 「モデムを一覧から選択するので検出しない」にチェックを入れて、「次へ」をクリックします。



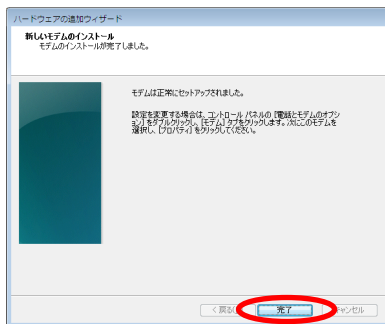
10. しばらくすると「新しいモデムのインストール」画面表示になるので、右側の「モデル」欄から、「2台のコンピュータ間の通信ケーブル」を選択して、「次へ」をクリックします。



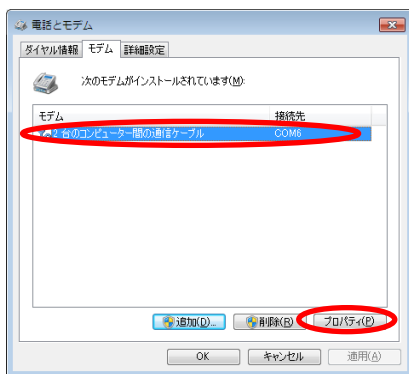
11. 「選択したポート」にチェックを入れ、シリアルケーブル設定時に確認したポート番号を選択します（下図の場合は「COM6」となっています）。続いて、「次へ」をクリックします。



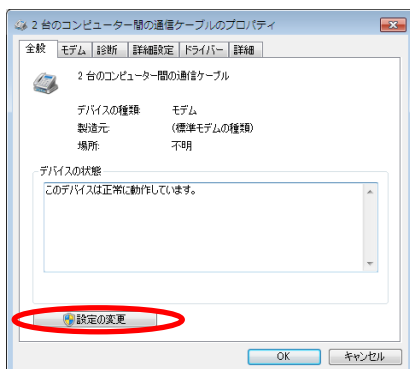
12. 「モデムは正常にセットアップされました。」という表示を確認し、「完了」をクリックします。



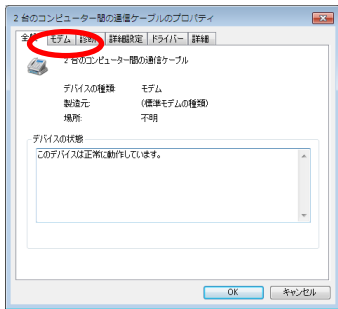
13. 「モデム」タブが選択された画面で、今回作成した「2台のコンピュータ間の通信ケーブル」を選択し「プロパティ」をクリックします。



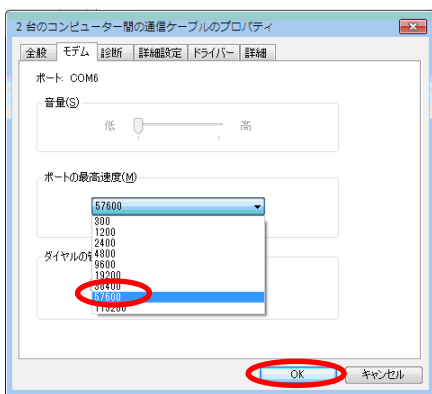
14. 「2台のコンピュータ間の通信ケーブルのプロパティ」画面で、「設定の変更」をクリックします。



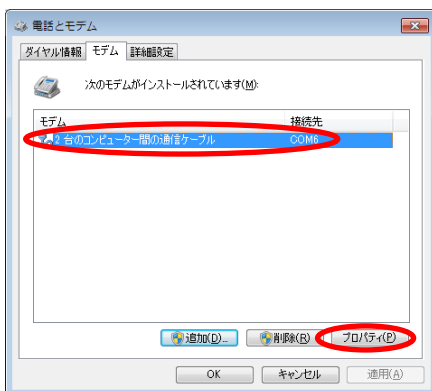
15. しばらくして「2台のコンピューター間の通信ケーブルのプロパティ」画面が再度表示されますので、「モデム」タブをクリックします。



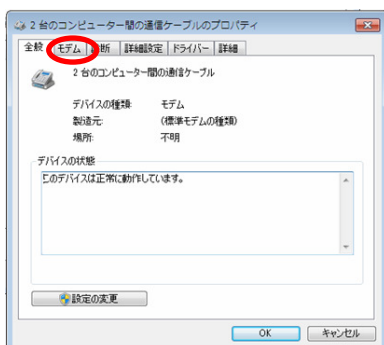
16. 「ポートの最高速度：57600」に設定して「OK」をクリックします。



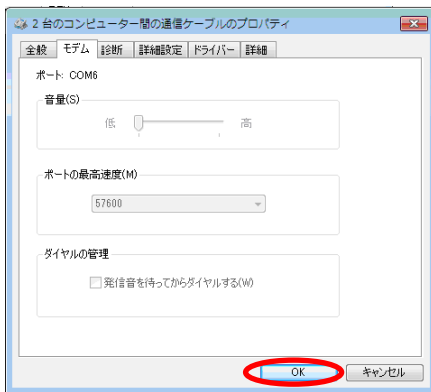
17. 「電話とモデム」画面で「2台のコンピューター間の通信ケーブル」を選択し、「プロパティ」をクリックします。



18. 「2台のコンピューター間の通信ケーブルのプロパティ」画面で、「モデム」タブをクリックします。



19. 「ポートの最高速度」が「57600」になっていることを再度確認します。「OK」をクリックします。



20. 「電話とモデム」画面で「OK」をクリックします。

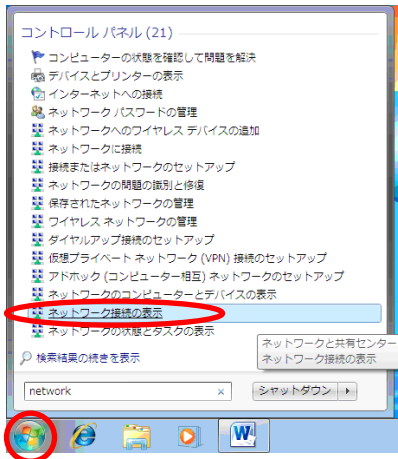
21. 「すべてのコントロール パネル項目」画面で右上の「X」をクリックして閉じます。

22. 変更した設定を有効にするために、一度シャットダウン後、起動を行います。

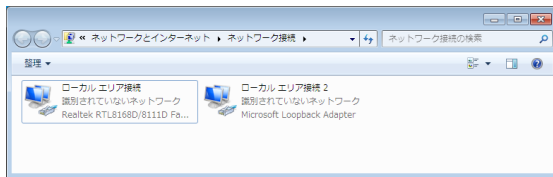
※以降の手順が正常終了しませんので、必ず再起動を行ってください。

手順 5. 新しい着信接続の作成

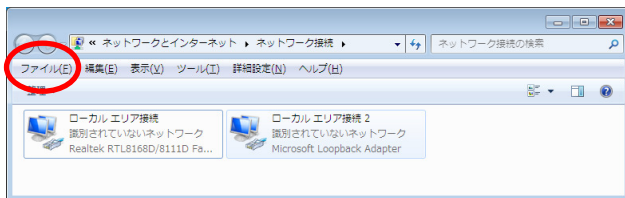
1. 管理者アカウントでログインします。
2. 左下の「スタート」ボタンをクリックし、「プログラムとファイルの検索」欄で「network」と入力します。「コントロールパネル」の下部に「ネットワーク接続の表示」が表示されますので、クリックします。



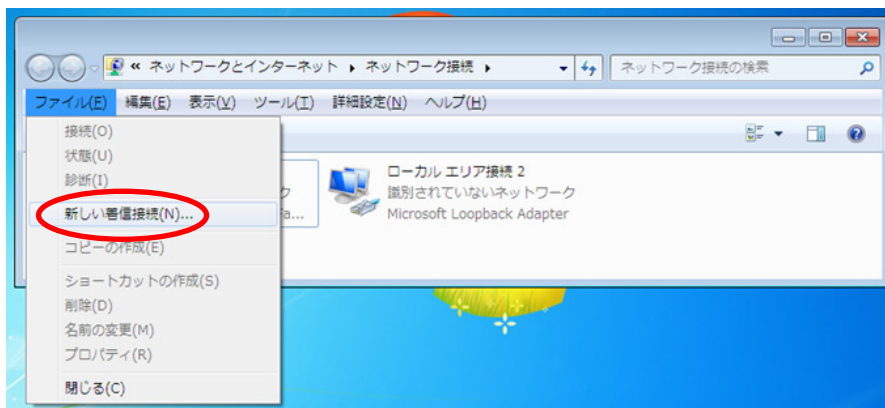
3. 「ネットワーク接続」画面が表示されることを確認します。



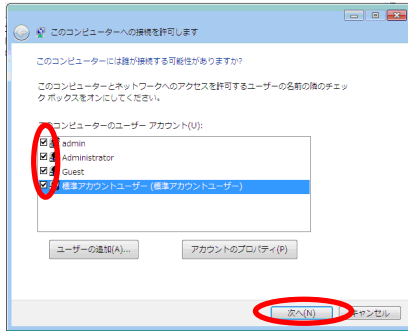
4. 「Alt」キーを押し、「ファイル」が表示されることを確認します。



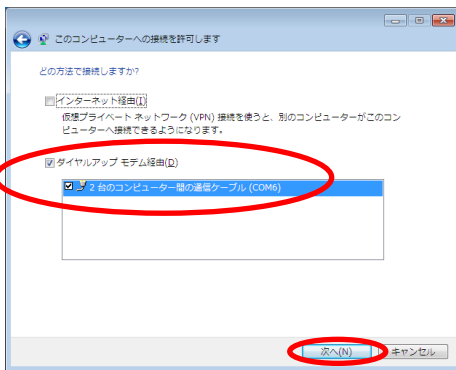
5. 「ファイル」をクリックし、「新しい着信接続」をクリックします。



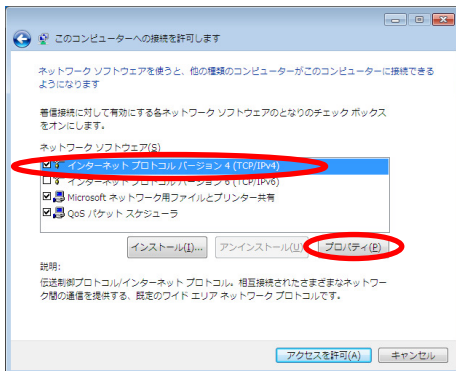
6. PC Transfer Utility を使用するユーザーアカウントにチェックをいれて「次へ」をクリックします。



7. 「ダイヤルアップ モデム経由」にチェックを入れて、「手順 4. 新しいモデムのインストール」で作成した「2 台のコンピューター間の通信ケーブル」を選択して、「次へ」をクリックします。

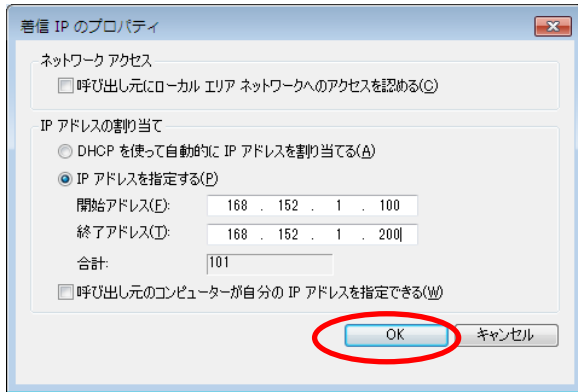


8. 「インターネット プロトコル バージョン 4」(TCP / IPv4) を選択し、「プロパティ」をクリックします。

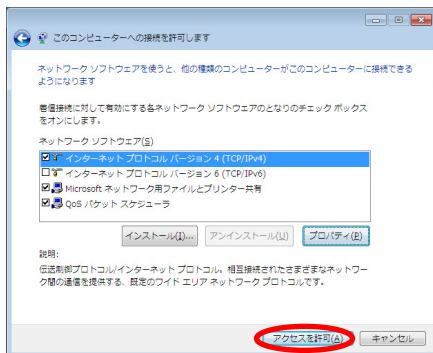


9. 「着信 IP のプロパティ」画面で、下記設定にします。

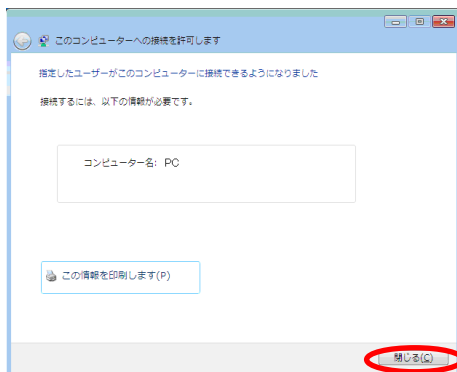
- ・「呼び出し元にローカル エリア ネットワークへのアクセスを認める」のチェックを外します。
 - ・「IP アドレスを指定する」にチェックし「開始アドレス:168.152.1.100」「終了アドレス:168.152.1.200」に設定します。
 - ・「呼び出し元のコンピューターが自分の IP アドレスを指定できる」のチェックを外します。
- 下画面のようになっていることを確認し、「OK」をクリックします。



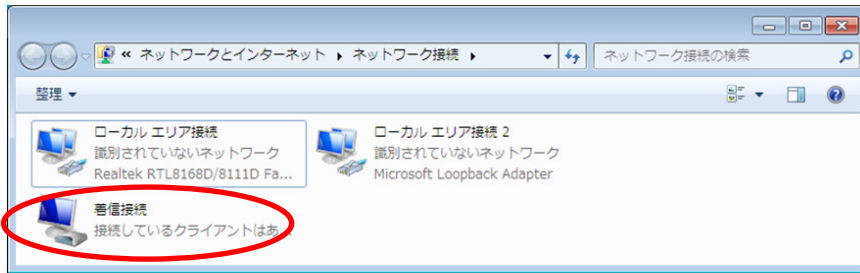
10. 「アクセスを許可」をクリックします。



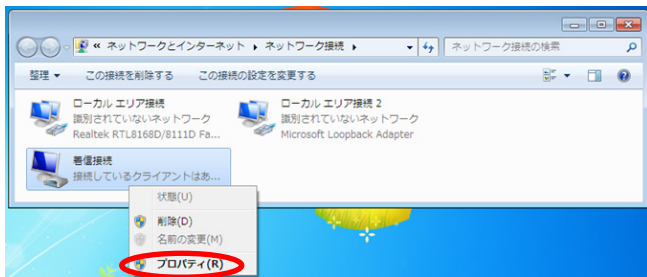
11. 「指定したユーザーがこのコンピューターに接続できるようになりました」という表示を確認し、「閉じる」をクリックします。



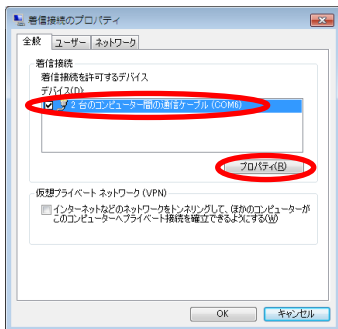
12. 下画面のように「着信接続」のアイコンが表示されていることを確認します。



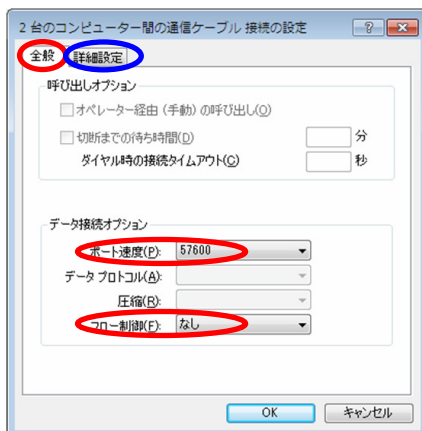
13. 「着信接続」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



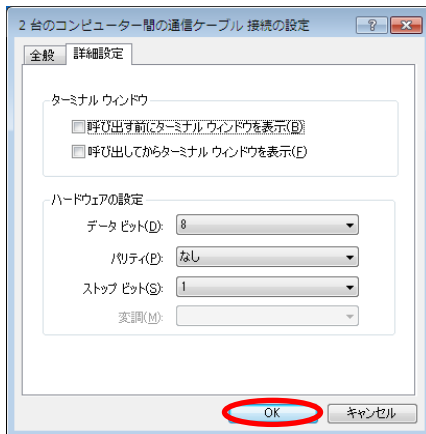
14. 「2台のコンピューター間の通信ケーブル」を選択し、「プロパティ」をクリックします。



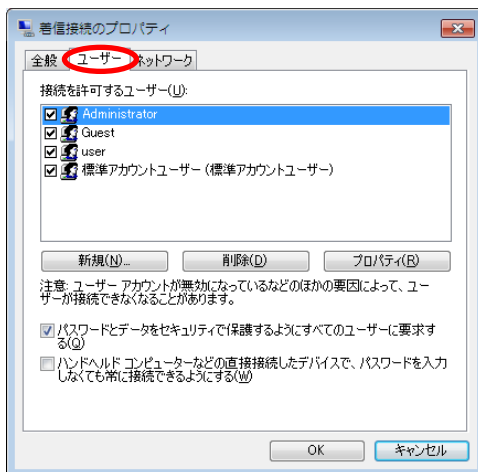
15. 「全般」タブで、「ポート速度」の値を「57600」に、「フロー制御」を「なし」に設定します。続いて「詳細設定」タブをクリックします。



16. 「詳細設定」タブが下図の設定になっていることを確認して、「OK」をクリックします。

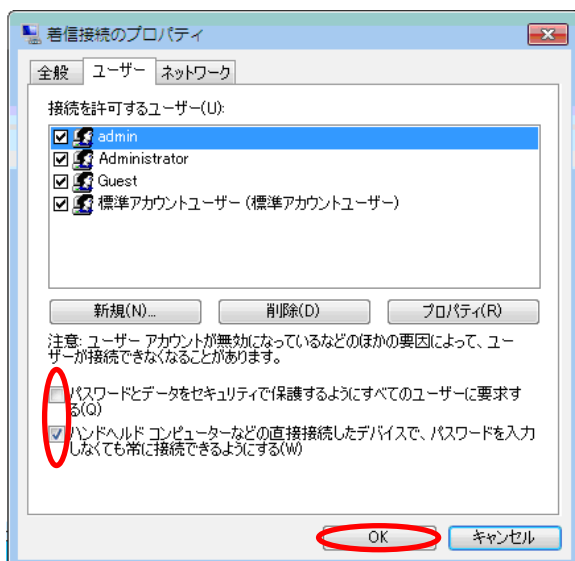


17. 「着信接続のプロパティ」画面で「ユーザー」タブをクリックします。

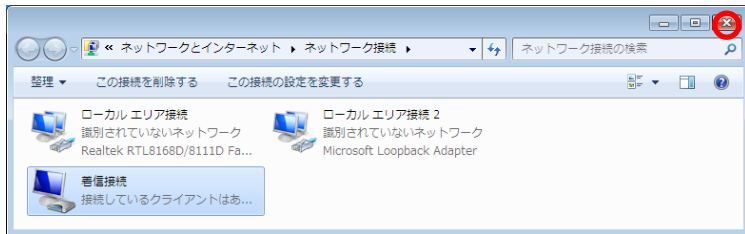


18. 下記のように設定します。

- ・「パスワードとデータをセキュリティで保護するようにすべてのユーザーに要求する」のチェックを外します。
- ・「ハンドヘルドコンピューターなどの直接接続したデバイスで、パスワードを入力しなくても常に接続できるようにする」にチェックを入れます。「OK」をクリックします。



19. 「ネットワーク接続」画面の右上の「X」をクリックし閉じます。

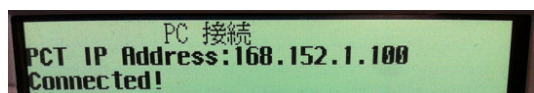


手順 6. 郵便料金計器とパソコンの接続

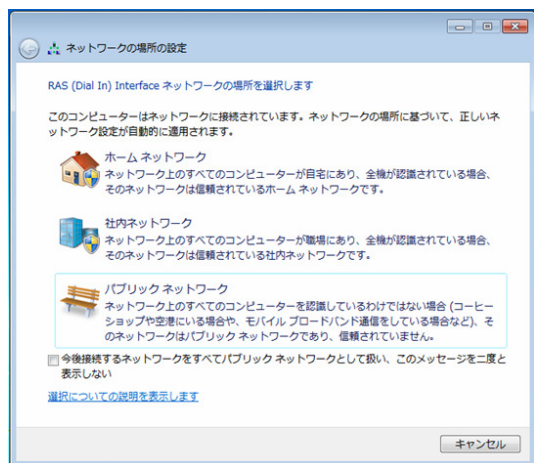
1. 郵便料金計器を起動します。
 2. パソコンと郵便料金計器を、USB-シリアルケーブルまたはシリアルケーブルで接続します。
 3. パソコン側にて管理者アカウントでログインします。
 4. パソコン側で「PC Transfer for Budget Manager」を起動します。
 5. 郵便料金計器側で「オプション」キー→「セットアップ」→「部門集計セットアップ」 or 「フモンシュウケイ」→「PCトランスファユーティリティ」を選択します。
- 1 度目の接続を行った場合、約 30 秒後に下画面「Error in Dial to Server connectToAtt Fail:-501」が表示されま



6. 再度、郵便料金計器側で「PCトランスファユーティリティ」を選択します。下画面のように正常に接続されることを確認します。再び上画面の様な表示になる場合は、「手順 2. ネットワークアダプター Microsoft Loopback Adapter のインストール」～「手順 5. 新しい着信接続の作成」までの各設定を再確認してください。



7. パソコン側で PC Transfer for Budget Manager を操作し、郵便料金計器のデータのエクスポート等が出来ることを確認します。
8. 管理者アカウント以外の標準ユーザーアカウント等で使用する場合は、そのアカウントでログインを行い、「1.」～「7.」までの作業を同様に実施します。パソコン側で郵便料金計器のデータのエクスポート等が出来ることを確認します。
9. 下画面のように「ネットワークの場所の設定」画面の表示がされた場合は、使用しているネットワークの場所をクリックします。



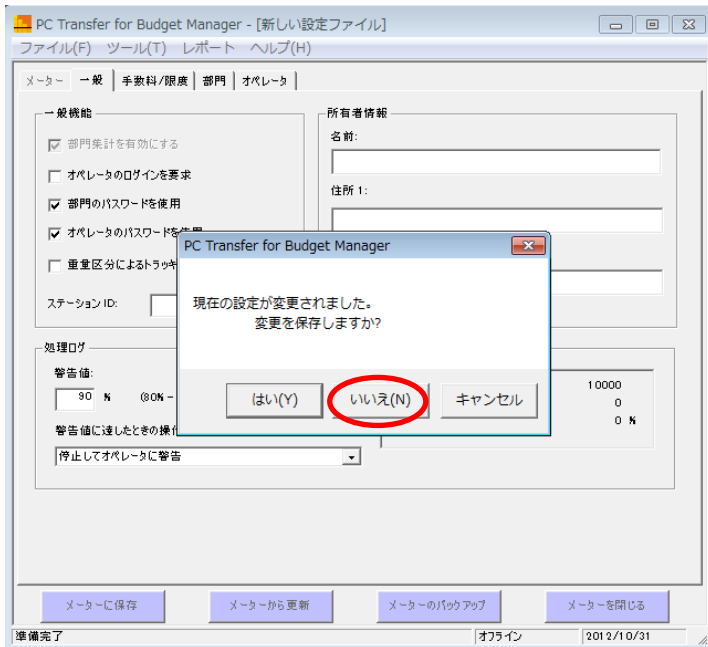
【重要】

PC Transfer Utility と郵便料金計器の正常接続を確認した後に一旦切断し、続けて再接続を行った場合は、郵便料金計器側で「Error in Dial to Server connectToAtt Fail:-501」が必ず表示され、連続して接続することが出来ません。この場合は、郵便料金計器側の「PC トランスファユーティリティ」を再度選択します。再接続することで正常に接続することが出来るようになります。

II. PCトランスファーユーティリティ（バジェットマネージャ用）の操作

1. 接続方法

1. PCと郵便料金計器がインターフェースケーブルで接続されていることを確認します。プログラムを起動すると、下の画面が表示されますので、「いいえ」をクリックします。



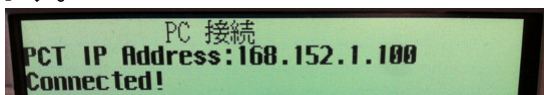
2. 「続ける」をクリックします。

3. メーター部の「オプション」キーを押し、「セットアップ」⇒「部門集計セットアップ」もしくは「ブモンシェウケイセットアップ」⇒「PCトランスファーユーティリティ」を選択します。

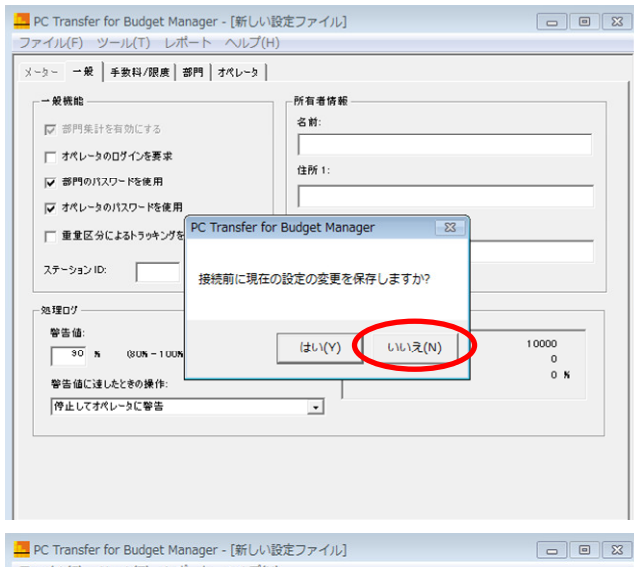
※1 回目の接続を行った場合、約 30 秒後に下画面「Error in Dial to Server connectToAtt Fail:-501」が表示されます。



再度、郵便料金計器側で「PCトランスファーユーティリティ」を選択します。下画面のように正常に接続されることを確認します。

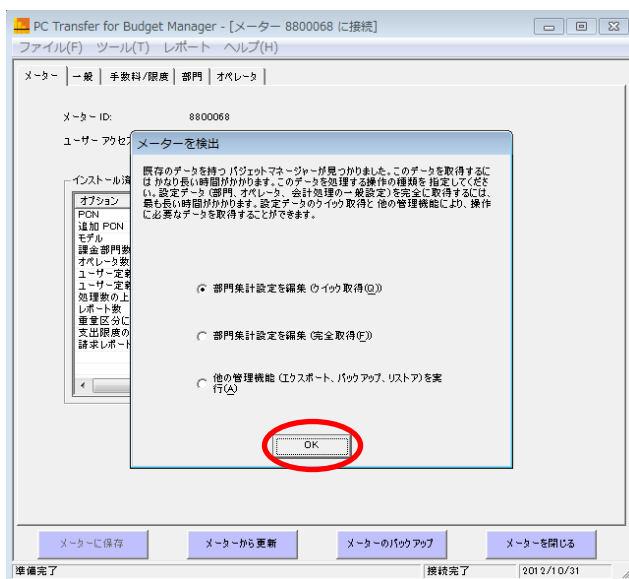


接続されますと、下の画面が表示されるので、「いいえ」をクリックします。



下の画面が表示されます。

1. 部門集計設定を編集 (クイック取得)
 2. 部門集計設定を編集 (完全取得)
 3. 他の管理機能 (エクスポート、バックアップ、リストア) を実行
- の中から選択し、「OK」をクリックします。通常はそのまま「OK」をクリックします。



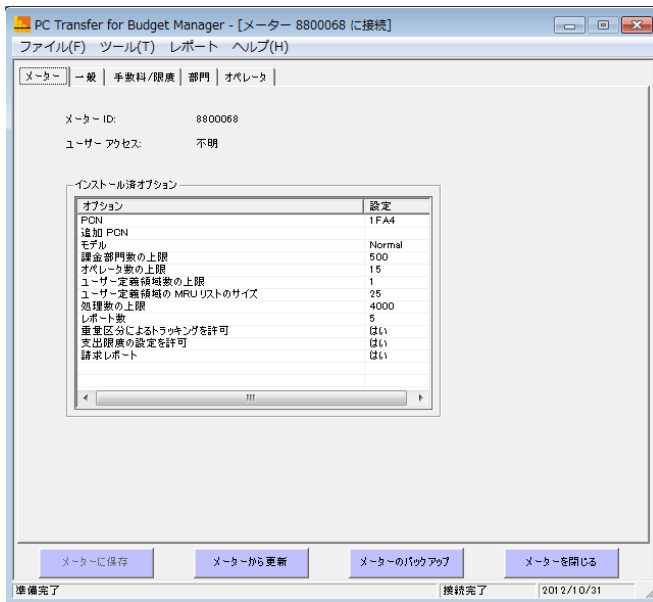
4. データが取得され、下の画面が表示されます。



2. 画面説明

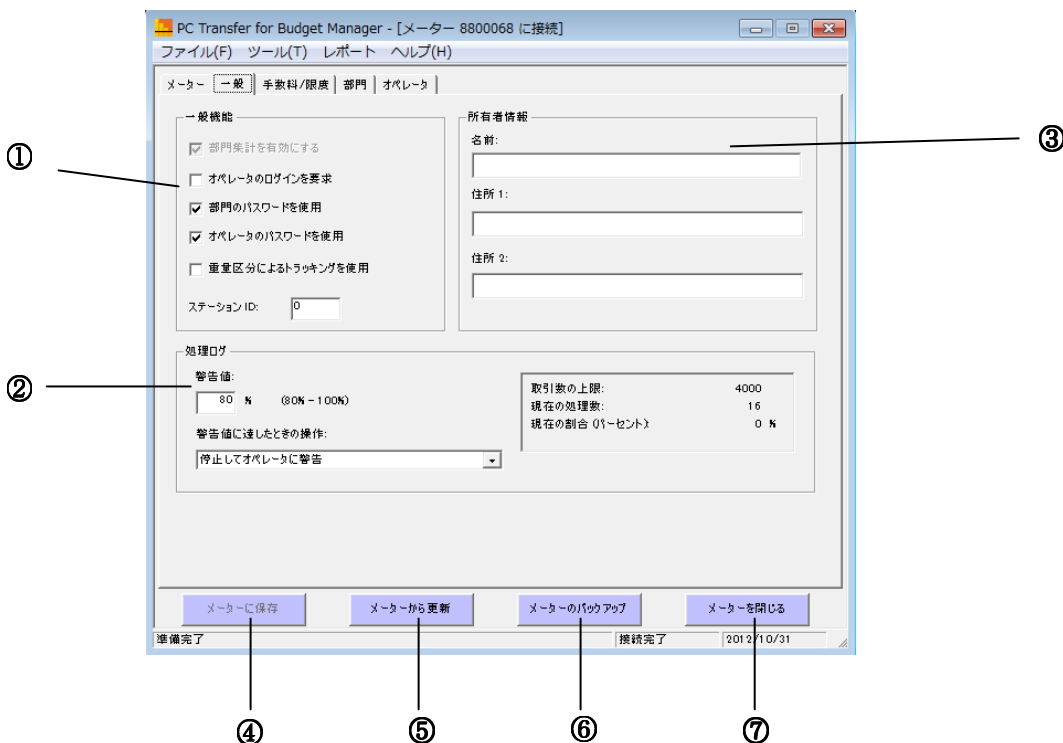
1. メーター

1. メーター 2. 一般 3. 手数料/限度 4. 部門 5. オペレータ項目が表示されます。
 下の画面は「1. メーター」画面です。メーター状況が表示されます。



2. 一般

一般機能、処理ログ、所有者情報を設定します。

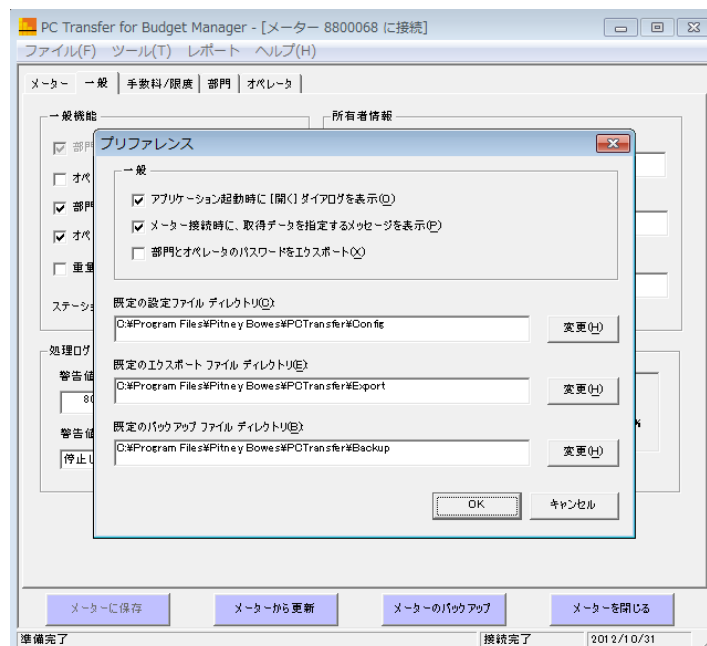
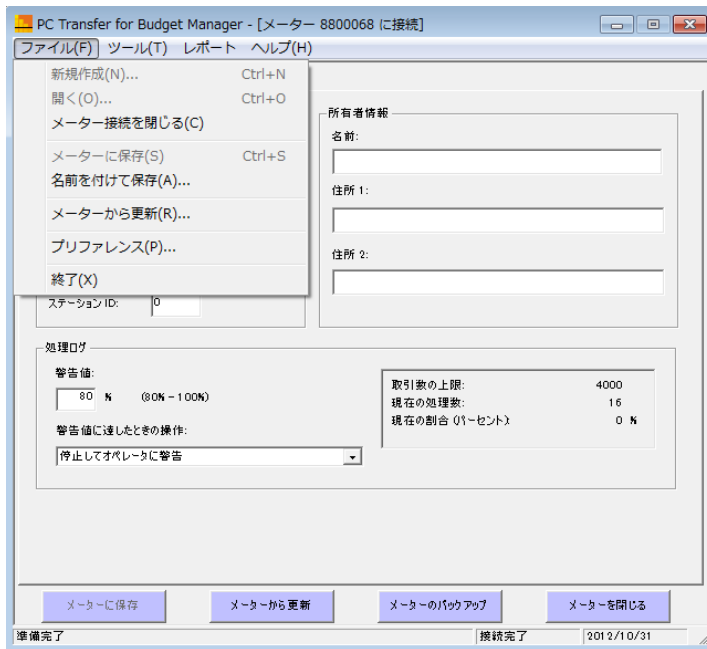


- ① **一般機能**—1. 部門集計を有効にする 2. オペレータのログインを要求 3. 部門のパスワードを使用 4. オペレータのパスワードを使用 5. 重量区分によるトラッキングを使用 6. ステーション ID (複数台使用の場合のナンバリング) 項目のチェック、入力を行います。
- ② **処理ログ**—処理メモリの上限警告を表示させるパーセンテージの設定、警告値に達した場合の操作 (1. 停止してオペレータに警告 2. 最も古い処理を削除して続行 3. 部門集計を無効にして続行) を選択します。右側には現在の処理数とパーセンテージが表示されます。
- ③ **所有者情報**—所有者の名前・住所を必要であれば記入します。
- ④ **メーターに保存**—設定をメーターに保存します。これは「手数料/限度」、「部門」、「オペレータ」に共通の項目です。
- ⑤ **メーターから更新**—設定をメーターから更新します。④同様に各項目共通です。
- ⑥ **メーターのバックアップ**—メーターデータをプリファレンスで指定したディレクトリに保存します。
- ⑦ **メーターを閉じる**—メーターと PC を切断します。

3. ファイルの保存先を変更

「プリファレンス」から下記を選択します。

1. 起動時に「開く」ダイアログを表示
2. メーターへの接続時、データを取得するようプロンプトを表示
3. ファイルのエクスポート時にアカウント及びオペレータのパスワードを含める
4. 設定ファイル、エクスポートファイル、バックアップファイルのデフォルトディレクトリの設定



4. 手数料／限度額

ここでは、集計期間、部門の支出限度、手数料設定を行います。



① 集計期間

期間を選択、期間の開始日と終了日を入力します。

② 手数料設定

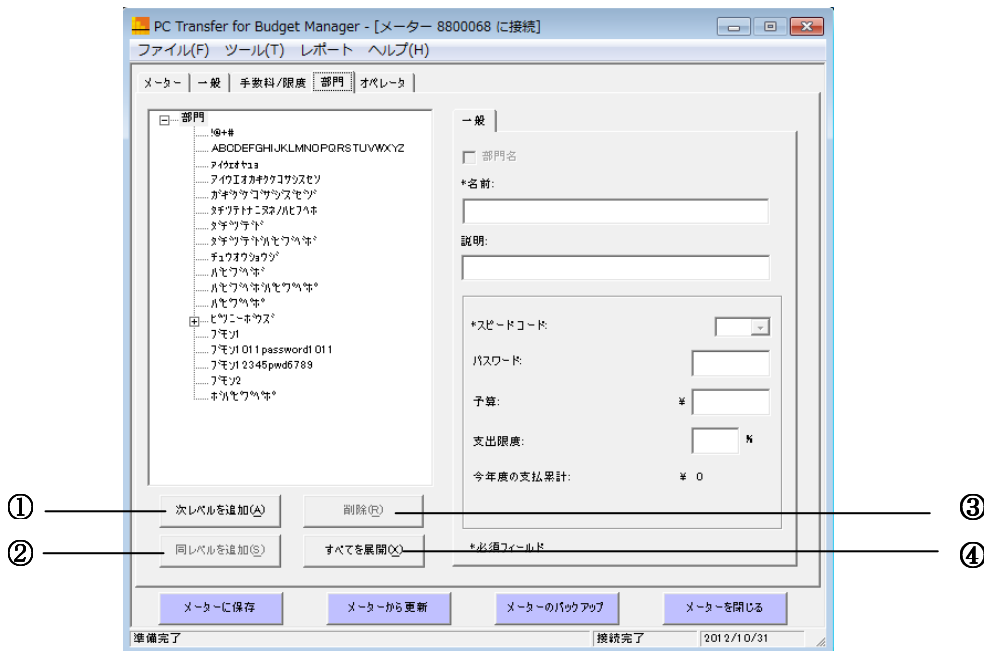
手数料の有効・無効、手数料方式と金額を設定します。

③ 部門の支出限度

支出限度の有効・無効、費用に対するパーセンテージを設定します。

5. 部門

ここでは、部門名の登録（カタカナ、英数字）、変更、パスワードの設定、予算の設定等を行います。

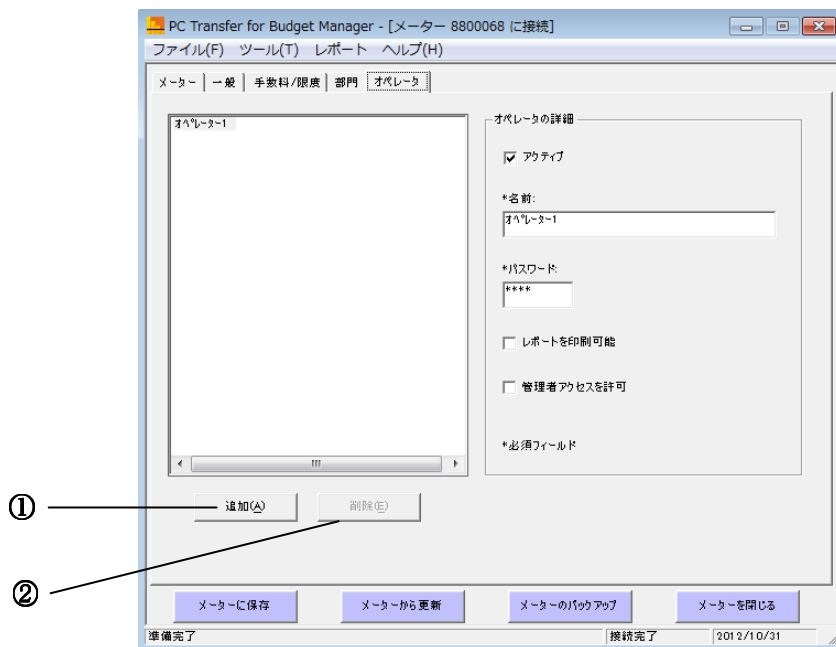


部門登録方法

1. 枠内の「部門」をクリックし反転させ、①「次レベルを追加」をクリックします。
2. 「名前」枠に部門名を入力し、エンターキーを押すと画面上に表示されます。
3. 部門を登録するには、部門をクリックして反転させ、②「同レベルを追加」をクリックし名前を入力します。
4. 中部門を登録するには、元になる大部門をクリックし反転させ、①「次レベルを追加」をクリックし名前を入力します。
5. 小部門を登録する際も方法は同様になります。パスワードや予算を設定する場合は部門登録する際にあわせて入力します。
6. 部門を削除するには、削除したい部門をクリックして反転させ、③「削除」をクリックします。④「すべてを展開」は大中小部門をすべて展開表示します。
7. 入力し終わったら「メーターに保存」をクリックすると、ここで設定したデータがメーターに保存されます。

6. オペレータ

ここでは、オペレータの設定、削除、パスワード設定、権限の設定を行います。



オペレータ登録を行うには、「名前」枠にオペレータ名（英数字、記号）とパスワード（英数字、記号）を入力し、権限（1. レポートを印刷可能 2. 管理者アクセスを選択し「①追加」をクリックします。削除する場合は削除したいオペレータをクリックして反転）させ、「②削除」をクリックします。

設定が終了したら「メーターに保存」をクリックし、ここで設定したデータをメーターに保存します。

7. インポートとエクスポート

ツールメニューからインポートとエクスポートを行うことができます。

インポートには「部門」、「オペレータ」、「設定」項目があり（ファイル形式は CSV・XML）、エクスポートには「部門」、「オペレータ」、「処理」、「集計データ」項目があります。（ファイル形式は CSV・XML・TSV・XLS を選択）

インポートデータ項目

- ・ 部門—部門名・スピードコード・パスワード・予算・支出限度
- ・ オペレーター—オペレータ名・パスワード・権限・アクティブ・非アクティブ
- ・ 設定—全ての設定

エクスポートデータ項目

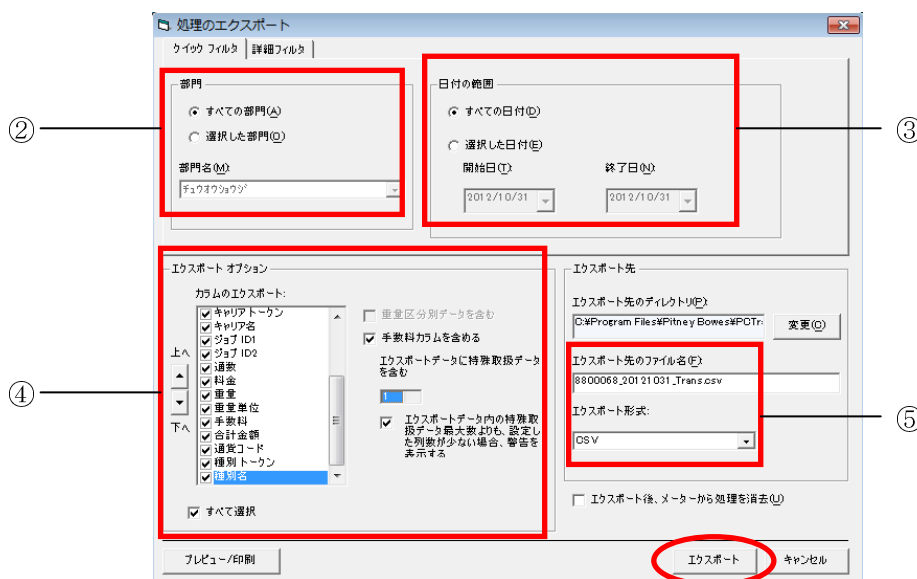
- ・ 部門—部門名・スピードコード・パスワード・予算・支出限度
- ・ オペレーター—オペレータ名・パスワード・権限・アクティブ・非アクティブ
- ・ 処理—処理データ（ID・開始日時・終了日時・部門名・キャリアトークン・キャリア名・種別トークン・種別名・処理の種類・オペレータ ID・オペレータ名・ジョブ ID1・ジョブ ID2・通数・料金・重量・手数料・合計金額・重量単位・通貨コード）
- ・ 集計データ—集計データ（部門名・期間・開始日時・終了日時・キャリアトークン・キャリア名・種別トークン・種別名・通数・料金・手数料・合計金額）

※ 処理データの件数が多い場合、エクスポートにかかる時間が長くなります。

※ 集計データに関しては部門数が多い場合、エクスポートにかかる時間が長くなります。

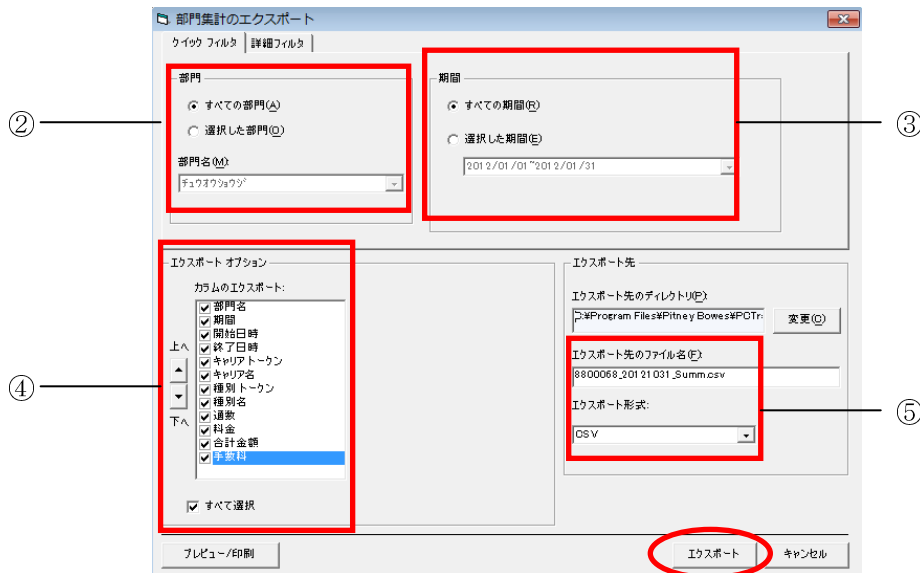
処理のエクスポート手順

- ① 「ツール」⇒「エクスポート」⇒「処理」を選択します。
- ② 「部門」について、「すべての部門」か「選択した部門」どちらかを選択します。「選択した部門」を選択した場合、プルダウンでデータを取り込む特定の部門を選択します。
- ③ 「日付の範囲」で「すべての日付」か「選択した日付」を選択します。「選択した日付」を選択した場合、「開始日」と「終了日」をカレンダーから選択します。
- ④ 「エクスポートオプション」で取り込むデータ項目を選択します。初期設定では全ての項目が選択されています。
「エクスポートデータに特殊取扱データを含む」様にする場合は、何種類まで特殊取扱データを取り込むかを選択（速達と書留を併用した場合は2種類となります）し、一度数字をクリックして青く反転させます。
- ⑤ ファイル名の入力（初期設定ではマシン番号と日付になっています）とデータの形式を選択します。CSV／TSV／XML／XLS から選択します。
- ⑥ 「エクスポート」を選択します。

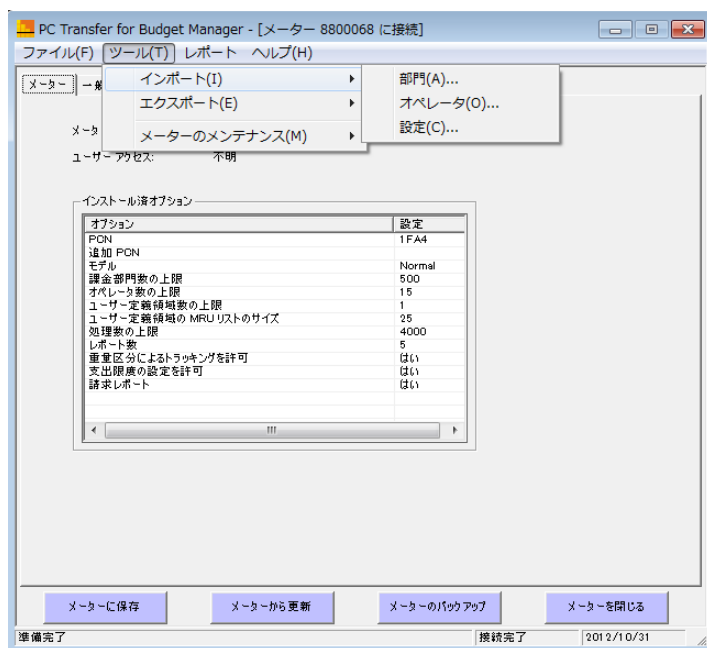


部門集計のエクспорт手順

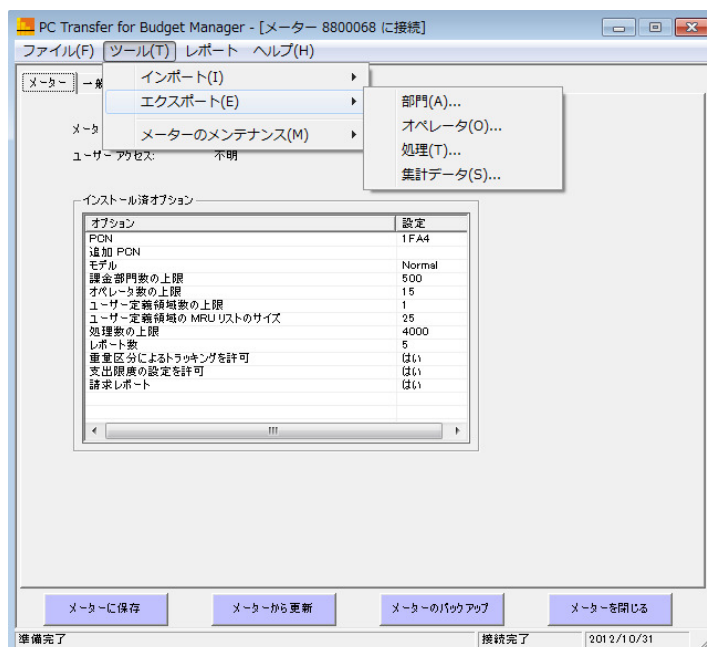
- ① 「ツール」⇒「エクспорт」⇒「集計データ」を選択します。
- ② 「部門」について、「すべての部門」か「選択した部門」どちらかを選択します。「選択した部門」を選択した場合、プルダウンでデータを取り込む特定の部門を選択します。
- ③ 「期間」で「すべての期間」か「選択した期間」を選択します。「選択した期間」を選択した場合、どの期間のデータを取り込むかをプルダウンで選択します。
- ④ 「エクспортオプション」で取り込むデータ項目を選択します。初期設定では全ての項目が選択されています。
- ⑤ ファイル名の入力(初期設定ではマシン番号と日付になっています)とデータの形式を選択します。CSV／TSV／XML／XLS から選択します。
- ⑥ 「エクспорт」を選択します。



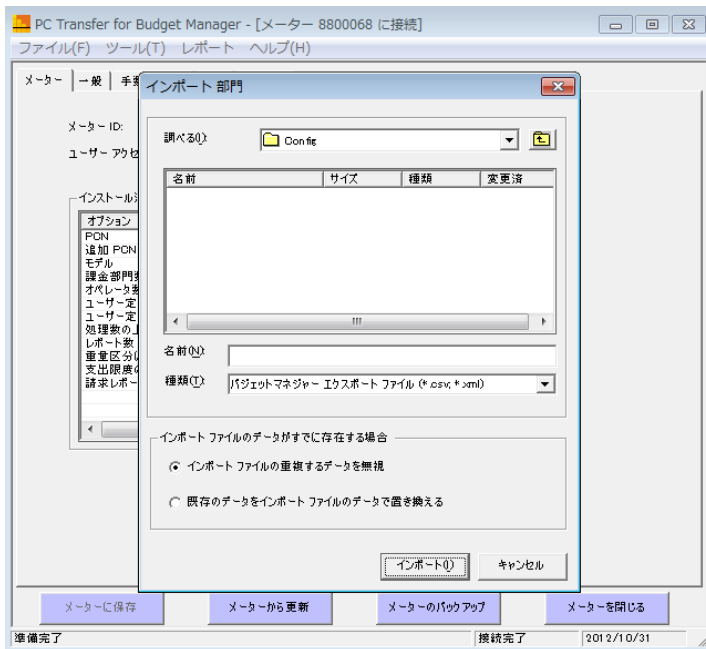
インポートメニュー画面



エクスポートメニュー画面

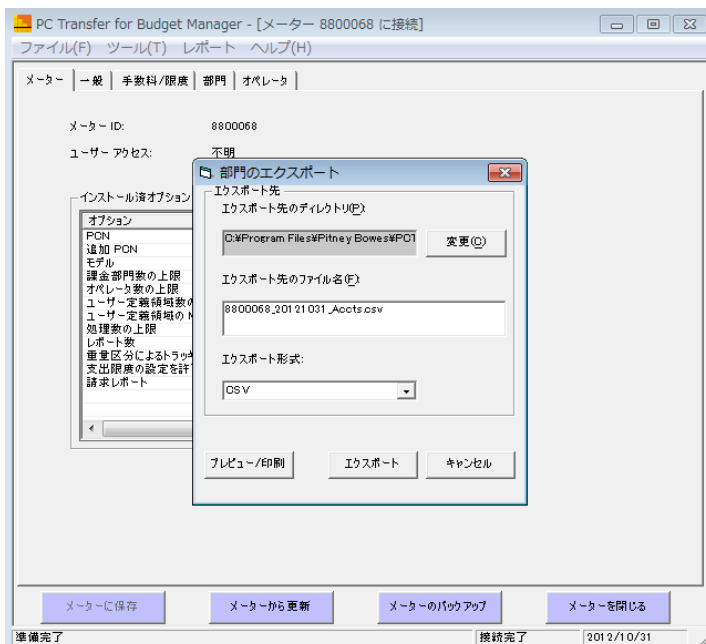


部門（設定）インポート画面



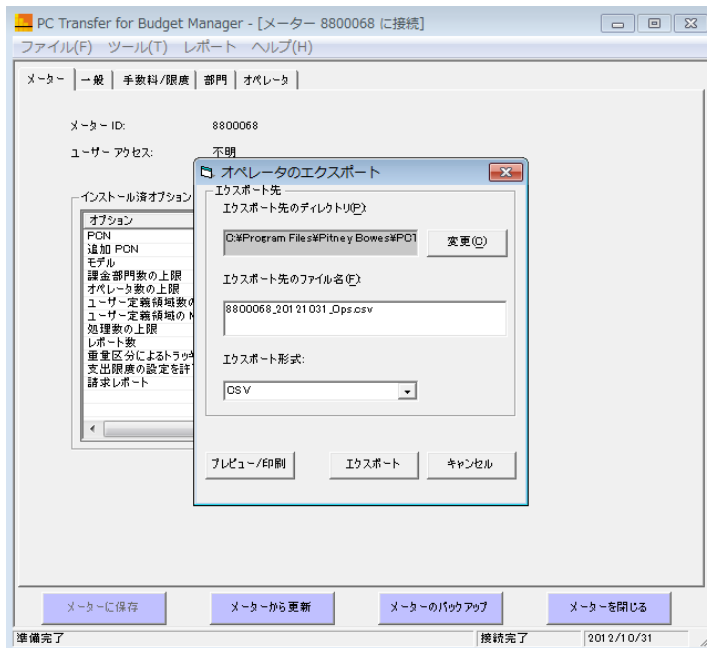
「インポート」⇒「設定」を選択すると、「続ける前にメーターへの変更を保存して下さい。変更を保存しますか？」とメッセージが表示されるので、「はい」を選択すると、左の画面が表示されます。

部門エクスポート画面



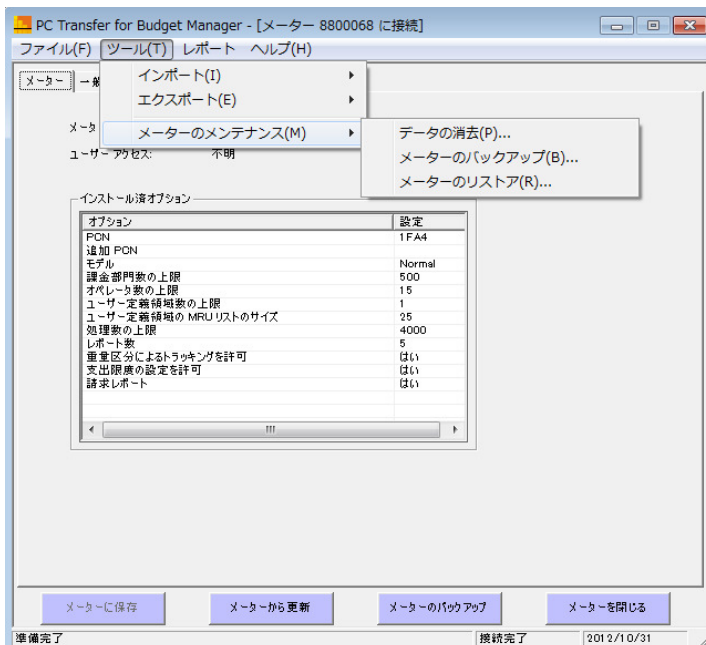
「エクスポート」⇒「部門」を選択した場合は特にメッセージは表示されず、左の画面が表示されます。

オペレータのエクスポート画面



8. メーターのメンテナンス

ここでは、メーターデータの消去、メーターデータのバックアップ、メーターデータのリストアを行います。



データの消去

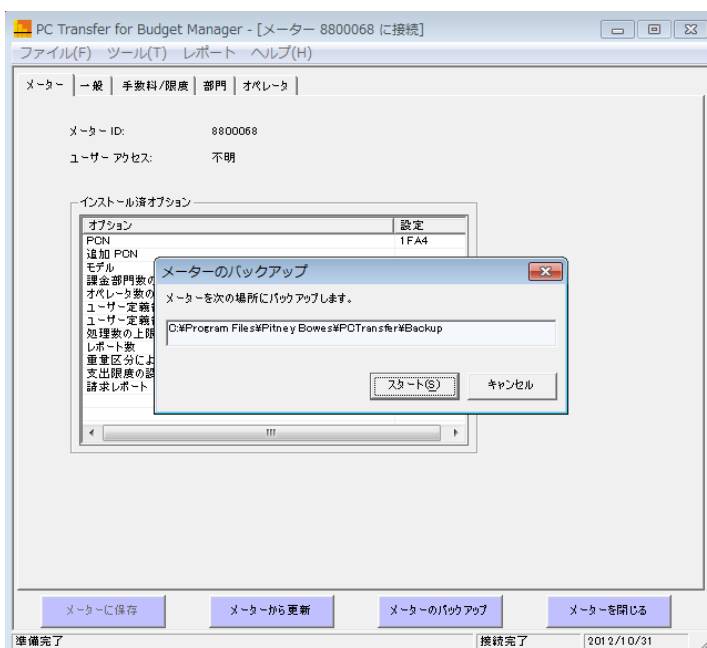
ここで処理データと集計データを消去します。

- ① すべての処理を消去 ②すべての部門集計データを消去 を選択しチェックボックスをクリックします。
- 1度データを消去すると、元に戻すことはできませんのでご注意ください。



メーターのバックアップ

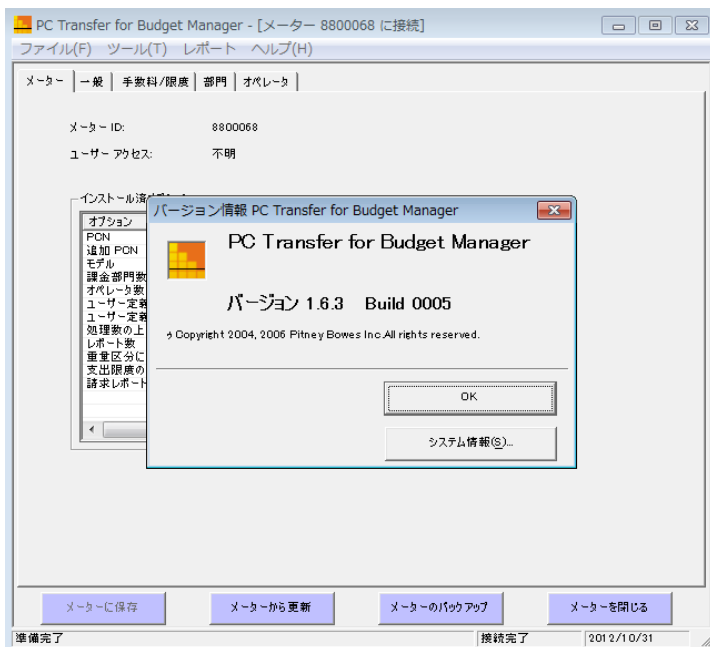
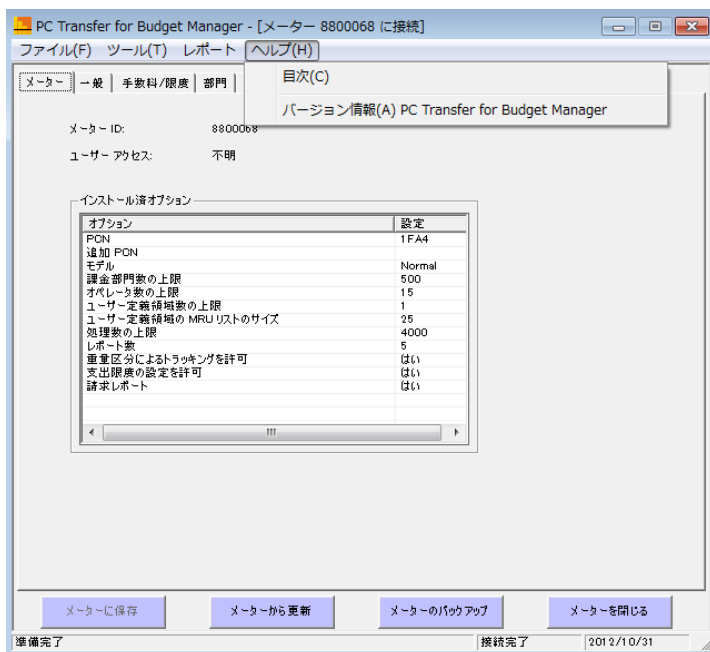
メーターの全設定、データのバックアップをとります。




9. ヘルプ

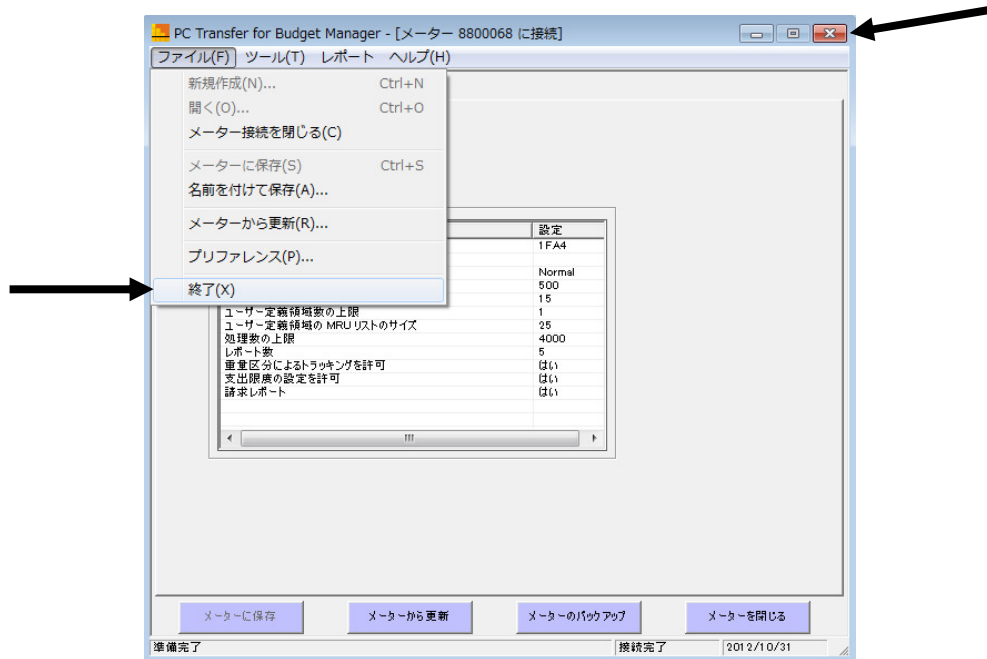
ヘルプメニューには、目次とバージョン情報があります。目次では PC トランスファーユーティリティを使用するのに必要な情報が各項目に別れて記載されています。必要な部分を参照してください。

バージョン情報をクリックするとソフトウェアバージョンを表示します。



10. プログラムの終了

プログラムを終了するには「ファイル」⇒「終了」をクリックするか、右上の  をクリックします。



1 1. トラブルシューティング

エラー表示し、接続出来ない場合

※まずは PC および郵便料金計器の電源を入れ直し、再度接続を行ってみて下さい。

- ・電源の入れ直しを行っても接続出来ない場合、USB－Serial 変換ケーブルがご使用の PC の OS に対応しているかをご確認下さい。

推奨モデル：BUFFALO 製 BSUSRC06 シリーズ

- ・USB－Serial 変換ケーブルを PC から抜き差ししますと、認識の COM 番号が変わる場合がありますのでご注意下さい。
- ・コントロールパネル内の「ファイアウォールの設定」を行っている場合は、PC Transfer Utility(PC Connect)を許可して下さい。
- ・ファイアウォールの設定にて、「許可されたプログラムの一覧にあるプログラムを含め、すべての着信接続をブロックする」のチェックボックスにチェックが入っている場合、チェックを外して下さい。



各種別のネットワーク設定のカスタマイズ
使用する各種別のネットワークの場所に対するファイアウォール設定を変更できます。
[ネットワークの場所に関する詳細](#)

① セキュリティのため、設定のいくつかはシステム管理者によって管理されます。

ドメイン ネットワークの場所の設定

- Windows ファイアウォールを有効にする
 - 許可されたプログラムの一覧にあるプログラムも含め、すべての着信接続をブロックする
 - Windows ファイアウォールが新しいプログラムをブロックしたときに通知を受け取る
- Windows ファイアウォールを無効にする (推奨されません)

ホームまたは社内 (プライベート) ネットワークの場所の設定

- Windows ファイアウォールを有効にする
 - 許可されたプログラムの一覧にあるプログラムも含め、すべての着信接続をブロックする
 - Windows ファイアウォールが新しいプログラムをブロックしたときに通知を受け取る
- Windows ファイアウォールを無効にする (推奨されません)

パブリック ネットワークの場所の設定

- Windows ファイアウォールを有効にする
 - 許可されたプログラムの一覧にあるプログラムも含め、すべての着信接続をブロックする
 - Windows ファイアウォールが新しいプログラムをブロックしたときに通知を受け取る
- Windows ファイアウォールを無効にする (推奨されません)

- ・ファイアウォールが「無効」になっても接続出来ない場合、ご利用のセキュリティソフトが関係している場合があります。システム管理者の方に一度セキュリティソフトをオフに設定いただき、接続テストを行ってみて下さい。



- ユーザーログインしている場合、エクスポートファイル保存先へのアクセス権限（書き込み権限等）があるか、システム管理者の方にご確認下さい。
- インストール先ドライブ（Cドライブ等）の「Program Files ⇒ Pitney Bowes⇒PC Transfer Utility フォルダ」のプロパティをご確認いただき、「セキュリティタブ」にて、ユーザーの「フルコントロール」欄にチェックを入れて下さい。

ピツニーボウズジャパン株式会社

www.pitneybowes.com/jp

東京本社	／〒142-0041	東京都品川区戸越 1-7-1	戸越 NI ビル	TEL : 03-5750-4111
大阪支店	／〒541-0048	大阪府中央区瓦町 4-6-8	アーク瓦町ビル	TEL : 06-6228-1901
名古屋支店	／〒460-0003	名古屋市中区錦 1-10-27	カネヨビル	TEL : 052-211-3241
福岡支店	／〒810-0001	福岡府中央区天神 4-1-32	損保ジャパン福岡天神ビル	TEL : 092-761-7444
仙台営業所	／〒980-0804	仙台市青葉区大町 1-2-1	ライオンビル	TEL : 022-227-0936